＝社協だより＝

平成29年1月1日発行

しあわせ

第104号

社会福祉法人
棚倉町社会福祉協議会
棚倉町大字棚倉字中居野68番地1
電話（0247）33−2623
FAX（0247）23−1525

第19回 秋のフェスティバル

今年は日本民謡協会花園支部の皆さんに津軽三味線を披露していただきました。三味の音色に酔いしれていました。

ボランティアあすなろの皆さんに愛情いっぱい具いっぱいのおいしい豚汁を作っていただきました。ごちそうさまでした。恒例のビンゴゲームはみんなが楽しみにしているゲームです。

社会福祉協議会は地域福祉の要として、多くの人々の善意に支えられ、福祉事業活動を行っています。住み慣れた町（地域）で安心して、生活できるよう、みんなで互助の心をはぐくみ、支え合い、福祉の「まちづくり」を推進しましょう。

目次

ページ
・新年のご挨拶 …… 2
・理事、評議員選任・会員会費報告 …… 3
・愛ちゃん希望くんだより …… 4
・御寄附者紹介・社協のホームヘルプサービス … 5
・しあわせ指定居宅介護支援事業所 …… 6
・地域包括支援センター …… 7
・ボランティアセンター …… 8〜9
・お知らせコーナー …… 10

新年のごあいさつ

棚倉町社会福祉協議会
会長（町長）
湯座　一平

新年明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、ご健勝にて新しい年をお迎えになられたことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日頃より当協議会にお寄せいただいておりますご支援とご協力に対しまして、敬意と感謝を申し上げます。

お陰様をもちまして、本町地域福祉の充実に向けた取り組みが順調に展開することができました。重ねて御礼を申し上げます。

さて、社会福祉協議会では、住民主体の理念に基づき、地域の福祉課題の解決に取り組み、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉の実現をめざし、社会福祉に関する事業の企画及び実施、住民による社会福祉活動に対する支援、社会福祉を目的とする事業に関する普及・連絡調整及び助成を行ない、地域福祉の推進を図っております。

しかし、今日の社会福祉を取り巻く環境は、福祉制度の改革や経済情勢の厳しさの長期化も相まって、生活困窮や権利擁護の問題など、さらに少子・高齢化の進行や働き方などの生活様式の変化に伴って、地域社会や家庭の様相は大きく変化してきており、社会福祉に対するニーズもそれに伴い、年々、多様化している現況にあります。

当協議会におきましては、町民の皆様が住み慣れた地域で安心して、誰も孤立することなく、共に暮らせる地域づくりを推進するとともに、町民生児童委員協議会やボランティア団体と協働した地域福祉活動を積極的に展開してまいりますので、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

年頭に当たり、今年が明るく希望の持てる年となりますとともに、皆様方のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

社協理事・評議員・監事を新たに選任

（任期：平成28年12月21日～平成29年3月31日）

民生委員の一斉改選により、社協の役員等に異動がありました。

12月21日の理事会、評議員会で新たな理事・評議員・監事を選任し、地域福祉の進展のためのご支援、ご協力をお願いいたしました。

また、退任された皆様には、社協活動へのご理解とご協力いただきましたことに深く感謝申し上げます。

《 就 任 》

氏　名	職　務	備　考
弓田甲造	副会長	民生委員
原　啓喜	理事	〃
坂本テル子	監事	〃
塩田京子	評議員	〃
小島寿美子	〃	〃
青戸寿一	〃	〃
秋山喜久男	〃	〃
北條静子	〃	〃
草野和子	〃	〃
近藤敏行	〃	〃
富岡壽次	〃	〃
吉田一則	〃	〃
緑川平夫	〃	〃
佐藤健二	〃	〃
菊池美智子	〃	〃
下重徳子	〃	〃
新村和枝	〃	〃
金澤　誠	〃	〃
佐川　栄	〃	〃
沼田一治	〃	〃
緑川宏芳	〃	〃

《 退 任 》

氏　名	職　務	備　考
田子　弘	副会長	民生委員
原　正之	監事	〃
金澤紀雄	評議員	〃
城戸ナツ子	〃	〃
藤田和江	〃	〃
青柳マサ子	〃	〃
近藤正博	〃	〃
松本多喜男	〃	〃
小山田幸子	〃	〃
鈴木　薫	〃	〃
岸波敬四郎	〃	〃
鈴木彦重	〃	〃
近藤欣也	〃	〃
緑川長男	〃	〃
鈴木悦喜	〃	〃
下重安代	〃	〃
金澤美和子	〃	〃
渡邉清人	〃	〃
藤田進次	〃	〃
鈴木信芳	〃	〃

社会福祉協議会の会員会費にご協力ありがとうございました

町民に皆様には、社会福祉協議会の活動に賛同いただきありがとうございました。

28年度会員会費の実績は下記のとおりとなりました。

■総　額　1,656,500円

■内　訳　特別会員　25世帯　50,000円

　　一般会員　3,185世帯　1,606,500円

この会員会費は、地域に根差した福祉活動を進めるための財源として有効な活用を図ってまいります。今後とも当協議会の事業運営についてご理解とご協力をお願いいたします。

愛ちゃん希望くんだより

赤い羽根共同募金運動チャリティバザーへのご協力ありがとうございました

10月30日、わくわく東白川ご当地キャラ祭inたなぐらにて開催いたしました「共同募金チャリティバザー」においては、皆様から多数バザー品のご提供をいただき、またご購入をいただき大盛況のうちに終了することができました。

今回、皆様からご提供いただきましたバザー出品数は595点で、111,727円を売上げることができました。

この売上金はすべて福島県共同募金会に送金し、様々な社会福祉事業へと配分をしてまいります。皆様の募金活動へのご協力と社会福祉事業へのご理解に対し、心よりお礼を申しあげます。

≪赤い羽根共同募金運動スローガン最優秀賞≫

【支え合って70回つないで行こう共同募金】

棚倉中学校2年　小林 愛弥さん

平成28年度赤い羽根共同募金運動スローガン募集したところ、応募作品1,076点の中から最優秀賞に、棚倉中学校2年小林愛弥さんが選ばれました。

第70回福島県社会福祉大会において受賞表彰式が行われ、壇上で小林さんは作品に込めたメッセージを次のように発表しました。

70年間も続いている赤い羽根共同募金運動。ちょうど、父と妹と私の年齢を足した数と一致しました。この先も、支えあう心を持ち続け、支援していきたいという思いと、同じ思いの方がもっと増えてほしいと願いを込めてこのスローガンを創りました。

後日、町長に報告しました。

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動 ご協力ありがとうございました。

10月1日から実施した「赤い羽根共同募金」「歳末たすけあい募金」には毎年ご協力を賜り感謝申し上げます。募金結果と配分実績については、平成29年4月1日発行予定の当会広報「しあわせ第105号」にて報告いたします。

ご寄附

社会福祉に役立ててくださいと、多くの方々から善意の寄附金が寄せられました。深く感謝申し上げます。(平成28年9月16日～平成28年12月8日)

御遺志による寄附 (順不同)

武藤　光男様　茨城県
鈴木　昭二様　流
笹島　正道様　新　町
久田　正子様　観音向
増田　光男様　南　町
高橋みゆき様　町　裏
角田　憲男様　福　岡
野中　恵子様　寺　山
岸波　博美様　山　際
近藤　寅夫様　日向前
佐藤　昌弘様　風呂ヶ沢
根本　保信様　堀　川
片野　達男様　福　井
川本進一郎様　神奈川県
井上　重男様　町　裏
近藤　一彦様　祝部内
長田　良一様　堤
大野　美津様　城　跡
甲賀　啓　様　中山本
原　政和様　西中居
生方　辰子様　山　田
佐川　浩俊様　丸　内
金澤　正明様　関　口
鈴木　学　様　宮　下
小濵　富男様　八　槻
和田　公喜様　流

その他の寄附

♥須藤　義春様　東京都

♥藤田　保男様　矢祭町　CD(小説、講話集)

ヘルパー日誌

これからますます乾燥して寒い季節になりますね。年末はお掃除やお正月準備に追われ、ふと気が付くと、手のあかぎれが痛い!なんてことに…私たちヘルパーも、仕事柄、手荒れには苦労しています。

そこで今回は、ハンドクリームの効果をさらに引き出せるぬり方をご紹介します。指先の血行が良くなり、手荒れの改善に効果がありますので、試してみてください。

ハンドクリームのぬり方

①手の甲にのせ、少しずつ伸ばしながら、全体に伸ばす
②指の付け根から指先に向かって優しく引っ張るように、指1本1本に伸ばす
③両手全体にしっかりなじませる

社協ヘルパーの今年の抱負!!

原はつ子ヘルパー
やりがい、働きがいをモットーにがんばるねん!

品川春枝ヘルパー
楽しい生活が送れますように、お手伝いさせていただきます。

近藤セツ子ヘルパー
1年間、笑顔で暮らせるよう、応援したいと思います。

藤田美代子ヘルパー
初心に戻り新たな気持ちで頑張ります。宜しくお願いします!

藤田サチ子ヘルパー
長く在宅生活が送れますように、笑顔でサポートしていきたいです。

小林愛ヘルパー
頼もしいヘルパーになれるように何事も真摯に取り組みます。

サービス提供責任者 西　牧
運動不足を解消できるよう心がけます。

私たちヘルパーは、利用される方々、ひとりひとりにあったサービスが提供できるよう、一丸となって頑張ります。今年もよろしくお願いいたします。

☆ お気軽にご相談ください　☎33－2623(担当：西牧)☆

しあわせ指定居宅介護支援事業所

～ケアマネ便り47～

今回は観音向にお住まいの常松和夫さん（87歳）、律子さん（83歳）ご夫婦を紹介します。

老老介護を地域で支えたい

ご夫婦には、東京に嫁いだ娘さんと、埼玉在住の息子さんがいますが、二人だけの生活になって、もう何十年経つのでしょうか。

和夫さんは、若い頃から町内にて兄弟で電気店を営み、50年以上に渡り地域の人々に親しまれてきました。当時は一般家庭にはまだテレビがない時代で、電気店の前には、テレビ放送を一目見ようと人だかりができていました。時代は高度成長期。仕事一筋で、家庭は妻がしっかりと支えてくれ、子供たちの成長を楽しみに二人三脚で歩んできました。趣味は投網を使っての川魚取り。70代で退職した頃には気の合う仲間と旅行を楽しみました。

平成24年に一過性脳虚血性発作、心房細動で突然の入院。検査では脳の萎縮が認められるとの診断を受けました。その頃は、まだそれほど日常生活に支障が感じられず、特に治療は受けませんでしたが、日によっては話がかみ合わないことや「家に帰りたい」と自宅を出ようとするなど、だんだんに目が離せない状態になりました。困惑した妻の律子さんは、一昨年、町高齢者係へ相談。その際に介護保険の申請と、高齢者見守り標識（QRコードシール）利用についての紹介があり、藁にもすがる思いで申請しました。相談に来られた律子さんには心労が伺え、初対面ながらとても心配になり、何とか力になりたいと思ったのを覚えています。

現在は定期的な受診と服薬管理に加え、週5日はE型デイサービス（認知症対応型通所介護）を利用しています。今ではすっかり馴染んで、レクリエーションや交流を楽しまれています。元々、手先が器用な和夫さんが、デイサービスで作った作品を照れながら見せてくれたことがありました。「昔ここの施設に、電気修理に来たことがあるんだ」と話してくださり、当時の活躍する和夫さんの姿が目に浮かびました。

最近では両親の体調を気遣い娘さんがまめに来てくれるので、ご夫婦にとっては力強い味方となっています。律子さんも、夫がデイサービスを利用している間にホッと一息して、リフレッシュする時間が持てるようになりました。これからはショートステイの利用も視野に入れ、ご夫婦仲良く安心して過ごせるように、少しでもお手伝いできればと思っています。

常松さん（要介護2）が利用しているサービス

★高齢者見守り標識
※（QRコードシール）

★E型デイサービス
（認知症対応型通所介護）

※高齢者の情報を事前に登録した「QRコードシール」を作成し、高齢者の衣服や持ち物に貼り付けて、万が一徘徊を発見した場合にはQRコードを読み取り、町が委託設置した緊急センターに通報をお願いするものです。

しあわせ指定居宅介護支援事業所からのお知らせ

11月1日付けで介護支援専門員として配属となりました土屋智恵です。

デイサービスの相談員や介護支援専門員の仕事をしてきました。笑ったり泣いたり、それでも「笑顔が一番!」を信条に頑張ります。よろしくお願いいたします。

※介護支援専門員が介護保険サービス利用のお手伝いをします。お気軽にご相談ください。☎33-2623（担当:佐藤・安久津・土屋）

あけましておめでとうございます！
地域包括支援センターです

～地域包括支援センターは、65歳以上の方のなんでも相談窓口です～

☎33－7811

『モデル地区』の取り組みをご紹介します!!

地域包括支援センターでは、高齢者支援の一環として「地域福祉ネットワーク」を構築することで、安心して生活できる地域づくりを目指しています。モデル地区の指定は2年間で、行政区単位で活動していただいています。今回は、その取り組みについてご紹介します。

たなぐら7区の活動について

今年度は7区のみなさんにご協力をいただき、
① 生活全般のなんでも相談・支援
② 認知症高齢者の見守り・家族支援
③ 災害時の救援活動
を目的に『7区ふれあいネットワーク』を策定しました。
また、地域の「あんしん」を支える目印となるようにとの思いを込めてステッカーを作成しました。

7区伝統の提灯にデザインされた「軍配」をモチーフにしました。

今年の活動として、65歳以上のひとり暮らし世帯（19世帯）を対象にお赤飯と下町商店オリジナルの商品券（1,000円分）を配布しました。区長さんを中心に役員さん、包括職員が2人1組で訪問し安否確認を行い、『顔の見える関係づくり』のきっかけとなりました。

昨年度からモデル地区の6・15区の活動について

昨年に引き続き、6・15区伝統の准胝観音祭りに高齢者の方も気軽に参加できるように無料の食券を配布しました。また、今年度から新たな取り組みとして「お茶のみサロン」を始めました。介護予防にもなるように歌や運動の先生に来ていただくなど、自分たちで内容を考え楽しく活動しています。
←新富家さんを会場に月1回集まっています。

平成29年度 モデル地区 募集中！

モデル地区の取り組みに関心がある方、
自分の地区でも取り組みたいと思った方はいませんか?
地域包括支援センターまで、お気軽にお問い合わせ下さい。

ボランティアセンター

ボランティアフェスティバルに参加しました!!

町長に報告

第19回ふくしまボランティアフェスティバルがパルセいいざかで行われました。

棚倉町からは15名が参加し、その中で「音声コードの会・たなぐら」が福島県知事感謝「たなぐら語りの会」が福島県社会福祉協議会長表彰を受けました。皆様の長期にわたる活動に感謝いたします。

棚倉町赤十字奉仕団

＊11月6日
高野地区の防御訓練に合わせて保健福祉センターで『炊き出し訓練』を実施しました。
朝早くからテントを設営し、ハイゼックス米と豚汁を130人分作り、緊急時の対応について演習しました。

＊12月5日
寿恵園での奉仕作業の後、一人暮らしの高齢者への年賀状を1枚ずつ心を込めて書きました。

ボランティアステップアップ研修

平成28年度4町村合同の研修会が行われました。活動発表後、それぞれのグループに分かれ、情報交換し交流を図りました。「自分の知らないボランティアの話が聞けて良かった」「他町村の方とお知り合いになることが出来た」との感想が聞かれました。午後からは〔ハートを癒すカラーセラピー～プチアート作り～〕ということで、講師には白河市からカラーセラピスト佐藤玲菜氏にお越しいただきました。先生の穏やかな声や口調で心が癒され「自分の心を見つめなおす素晴らしい体験ができた」と参加者から声が聞かれ、元気な笑顔が見られました。

傾聴ボランティア ステップアップ講座

会津大学短期大学部幼児教育学科木村淳也先生にお越し頂き、傾聴ボランティアほほえみ会の会員が集まり「聞き上手になるために－初対面での接し方－」を研修することで、もう一度基本に戻り、活動先においても「聴くこと」の大切さを改めて確認することができました。

いきいきくらぶボランティア　藤蔭流

12月6日、7日、8日の3日間にわたり、塩田トミ子さん、五江渕静江さん、早見栄子さんにお越し頂き日本舞踊を披露して頂きました。きれいな着物に見惚れ、踊りにうっとりし、日ごろの生活と離れた楽しい時間を過ごさせて頂きました。ありがとうございました。

10月から12月まで活動して頂いたボランティアの皆さま

☆いきいきくらぶ：食生活改善推進員会、菊池とし子さん
☆ひまわり号を走らせる会：カナリヤ会、鈴木ソメ子さん
☆寿恵園訪問：ボランティアあすなろ
☆傾聴ボランティアほほえみ会
☆手作り雑巾ボランティア：鈴木春枝さん
☆地域サロン：絵手紙の会福寿草
☆棚倉サウンドテーブルテニスクラブ
☆音声コードの会・たなぐら
☆デイケアサティ：たなぐら語りの会
☆託児ボランティア：緑川幸子さん、小林章子さん
☆鈴木セツさん、坂本テル子さん、高宮栄子さんよりタオルをたくさん頂きました。

ご協力ありがとうございました。

※ボランティアセンターでは未使用のタオルを募集しています。
また雑巾を縫ってくれる方も募集しています。（連絡先：33－2623）

お知らせコーナー

《心配ごと相談》

【民生委員による相談】　日時　毎月第２月曜日　午前９時～正午（祝祭日の場合は翌日）
１月10日　２月13日　３月13日

【弁護士による相談】　日時　毎月第３木曜日　午前10時30分～午後３時
１月19日　２月16日　３月16日

電話による受付予約は、**前日　９時～17時まで**　です。
当日　９時～12時まで　とします。

あらかじめ電話予約をして、お越しください。　電話番号は　33－2623　です。
来所による受付は、当日午前９時～午後３時までとします。
※相談については秘密を守ります。　※相談は棚倉町保健福祉センター内相談室で行います。
※無料で相談に応じますのでお気軽にご利用下さい。

地域サロンに集おう

★高齢者や障がい者、子育て中の方などのために、自宅から遠くないところに気軽に集まり、いろいろな趣味や軽運動をしながら日中を過ごす憩いの場を作る活動をしています。

♥月に一回、近くの集会所に集まって一緒におしゃべりしましょう。
♥お茶を飲んだり、歌を歌ったりしましょう。
♥一日一回、大声で笑いましょう。

活動内容・・・各地区での茶話会、趣味活動、レクリエーション等
場　　所・・・地域の集会所等
対　　象・・・どなたでも参加できます
助　　成・・・参加者15人以下1,500円／回16人以上2,000円／回
（行政区単位）

地域サロン開催地区
・山際区　・富岡区
・7区　・逆川区
・堤区　・14区

９月　飾り巻きずし
11月　クリスマスリース
を作りました。

サロン活動に興味がある方は、棚倉町社会福祉協議会までご連絡ください。
☎33-2623

★みなさんがお住いの地区でも、地域サロンを実施してみませんか!!

くらしのあんしんをおてつだいあんしんサポート

（日常生活自立支援事業）

日常生活に不安のある方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など）が、地域で安心して自立した生活が送れるように、福祉サービスの利用援助や日常生活的金銭管理などの援助を行います。

○ **福祉サービスの利用援助**（福祉に関する相談・助言・情報交換など）
○ **日常的金銭管理サービス**（利用者に代わってお金の出し入れを支援）
○ **書類等の預りサービス**（大切な書類をお預かりし保管します）

※この広報紙の発行には、共同募金の配分金が一部使われています。